

特定非営利活動法人
大阪市地域福祉施設協議会

総 会 議 案 書

2018年(平成30年)5月21日(月) 午前10時00分

場 所 大阪市立社会福祉センター

◆ 議 案 ◆

- ① 2017年度事業報告
- ② 2017年度決算報告
- ③ 監 査 報 告
- ④ 役 員 変 更
- ⑤ 2018年度事業計画案
- ⑥ 2018年度事業予算案
- ⑦ そ の 他

2017年度 事業報告

1. 総会・役員会・委員会の活動

① 総会の開催

総会 5月22日(火) 大阪市社会福祉センター

② 役員会の開催

4月7日(金)、10月10日(火)、1月12日(金)

③ 施設長会の開催

2月1日(木) 大阪市との話し合い、3月13日(火)

④ 各種委員会の開催

- ◆ 企画委員会 事業等の企画・運営・調整
- ◆ 拡大企画委員会 事業等の企画・運営
- ◆ 研修委員会 各種分野別研究会等の計画・実施

① 地域の子育て支援研究会

② 地域の子ども研究会

③ 地域の障がい児・者研究会

④ セツルメント研究会

- ◆ 自然体験施設事業委員会 ①びわこ青柳浜 セツルの家の運営と活動
ワークキャンプ活動(小・中・高生)
②びわこセツルの家改修工事

《 特別委員会 》

- ◆ バザー実行委員会 第19回自然体験施設応援バザーの企画・運営
- ◆ 全国研修会準備委員会 日地協主催 第22回全国地域福祉施設研修会名古屋大会
- ◆ 全国児童部会準備委員会 日地協主催 第16回全国地域福祉施設研修会児童部会

2. 年間行事

5月22日	大阪市地域福祉施設協議会総会	大阪市社会福祉センター
5月28日	第32回 ともだちドッジボール大会	長 居 小
7月 20~21日	第59回 大都市社会福祉施設協議会	横 浜 市
7~ 8月	びわこキャンプ場 セツルの家の利用	滋 賀 県 大 津 市 青 柳 浜
9月23~24日	第16回 全国地域福祉施設研修会児童部会	大 阪 市
11月26日	第47回 ともだちフェスティバル	長 居 公 園
1月12日	新 年 会	旬和席 うおまん
1月28日	第19回 自然体験施設応援バザー	都 島 東 保 育 園 他
2月10日	第23回 こども将棋大会	育徳園早川記念ホール
2月16~17日	第22回 全国地域福祉施設研修会	大 阪 市

3. びわこキャンプ場セツルの家の運営

①年間事業報告

・ 5月17日	セツルに家利用打ち合わせ会	長居保育園
・ 6月16日	セツルの家ワークキャンプ	セツルの家
・ 6月30日	セツルの家開設準備	セツルの家
・ 7月~8月	セツルの家夏季利用	セツルの家
・ 7月11日	セツルの家消防訓練（北田辺保育園）	セツルの家
・ 9月 1日	セツルの家夏季利用片付け	セツルの家
・ 9月~3月	セツルの家夏季外利用	セツルの家
・ 3月15日	セツルの家自動火災報知機設置	セツルの家

②施設整備

- ・ 浜側、駐車場側の草刈り、整備
- ・ 浜東側、溝の清掃、草刈り、整備
- ・ トイレ前の坂、コンクリート整備工事
- ・ セツルの家自動火災報知機設置

③利用施設 23施設

④利用泊数 39泊

○利用延べ人数		2,347人	
内訳	・ 幼児、児童	1,630人	(障がい児 92人)
	・ ボランティア、保護者	454人	
	・ 職員	263人	

⑤利用施設からのアンケート

- ・ 蜂の巣が多い。
- ・ 洗面台の脚が歪んでいる。
- ・ 本棟、縁側の戸に歪みがあり開閉が困難になる。
- ・ シャワー室のすのこが腐食している。
- ・ 電子レンジのドアが焦げている。(温め機能は使用可能)
- ・ 虫刺され(ブヨ、ブト、蜂等)子ども、職員が多数刺される。
(病院の医師からも今年は受診が多いとの事)
- ・ トイレの蚊の発生が多い。
- ・ 台所で羽根アリを発見する。
- ・ 別棟のダニ対策のためバルサンを焚く。
- ・ 倉庫の床が板張りになり、とても使いやすくなり有難い。
- ・ 本棟、奥の部屋のコンセントの破損がある。
- ・ 火災感知器の誤作動がある。

⑥担当 宮川、竹内 (長居保育園)

4. ワークキャンプ

①活動報告

○ワークキャンプ年間1回

日 程	行 先	内 容	参加施設	車 両	参加人数			
					児童	中高生	大人職員	合計
9月10日	山の家	リバートレッキング	7	マイクロ2台	37	12	14	63

- ・ リバートレッキング中に6名の子どもが蜂に刺されるという事故がある。(詳細はインシデント、アクシデントで報告)。川遊びにプログラムを変更し、自然の中であそびを楽しむ。

②年間のまとめ

- ・ 参加者が減少傾向にある。中高生がワークキャンプの活動に集いつながり合える場所となるように、地域の子ども研究会で話し合い、実践していく
- ・ リバートレッキングだけでなく、ワークキャンプでのさまざまな活動の中についての安全対策は職員の中で話し合いをして進めていく。

5. 自然体験施設応援バザー

①第19回 自然体験施設応援バザー

『来てみ～や 遊んでみ～や 都島』

- 日 程 : 2018年1月28日(日) 11:00~14:30
- 開催場所 : 都島東保育園
こども発達サポートステーション それいゆ
特別養護老人ホーム ひまわりの郷
- スタッフ : 150名(ボランティアを含む)
- 参加施設 : 愛染橋保育園・阿さひ保育園・育徳園保育所・今池子どもの家
今川学園保育園・風の子保育園・四貫島友隣館・大國保育園
特養いくとく・長居保育園・南港東保育園・やまと保育園
望之門保育園・平和の子保育園・わかくさ保育園・北田辺保育園
都島友の会 *地域の子ども研究会ほか

○収支報告

	収 入	支 出
金券	437,100	
パンダナ	250,500	180,460
物品販売	143,555	
抽選会	60,000	29,634
法人寄付	253,770	
ガレージ		1,400
景品代		41,844
振込み手数料		432
合計	1,144,925	253,770
純利益		891,155

- ・ 「地域住民との交流、開催施設の活性化、法人職員間の交流」を目的とした。特に、施設を超えた法人職員間の連携、交流ができ、ひとつの成果となった。
- ・ 会場を、保育所、障がい児施設、高齢施設の三施設とした。飲食会場を北側駐車場としたため、非常に寒い会場で、参加のみなさんには申し訳なかったが、終日熱気にあふれていたようにも思う。
- ・ 雨は降らなかったが、来場者が思ったよりも少なかった。開催時期とインフルエンザの流行が重なったことも要因のひとつと考えられる。

6. 職員の研修会の開催・参加

① 全国地域福祉施設研修会 第16回児童部会

- ◆ 日 程 2017年 9月23日(土祝)～24日(日)
- ◆ 開催場所 阿さひ保育園、やまと保育園
- ◆ 主 催 日本地域福祉施設協議会
NPO法人大阪市地域福祉施設協議会

② 2017年度 第22回全国地域福祉施設研修会

- ◆ 日 程 2018年 2月16日(金)～17日(土)
- ◆ 開催場所 大阪市(大阪キリスト教短期大学)
- ◆ 主 催 日本地域福祉施設協議会
NPO法人大阪市地域福祉施設協議会

③ 全体研修会(地域福祉研修会)の実施

全体研修会(地域福祉研修会)は、地域福祉施設の実践や当事者から学ぶこと、また、他分野(医療)との連携と協働を模索するなど、地域福祉の未来を語る研修会を2回開催した。また、この研修会は、第22回全国地域福祉施設研修会(大阪大会)の事前学習会としても位置づけて取り組んだ。

(1) 第1回 理想と現実の狭間で悩む私たち ～一人ひとりを大切にする地域福祉とは～

- ◆ 日 程 2017年11月30日(木) 19:15～21:00
- ◆ 会 場 育徳園 幸分ホール
- ◆ 事例報告 わかくさ保育園、前本保育士・入道保育士
- ◆ 講 師 森本 宮仁子さん(大阪聖和保育園 事務局長)
- ◆ 講演内容

○ テーマ「共に生きる 本名を名乗れる社会を目指して“民族保育”の取り組み」

ー“民族保育”の取り組みー

- ・ 大阪聖和保育園を利用する在日韓国朝鮮の方のうち、本名を名乗られる割合は10%という現状にある。
- ・ 1982年に民族保育をはじめ。在日韓国朝鮮の子どもたちが園に多く在籍する中、日本の歌をはじめとする日本の保育が行われていた。ある日、韓国朝鮮の歌「サントッキ(山うさぎ)」を歌うと、子どもたちは自然に歌ってくれた。数日後、ひとりの父親が「私たちは普段、日本人のように生きているのに、何故、今頃、保育園で韓国朝鮮の歌を歌うのか!」と、怒りを込めて話しに来た。この話に、いままでいかに厳しく多くの差別を受けてきたのであろうかと感じた。また別の保護者は、子どもがハルモニ(祖母)に歌ったところ、祖母がとても喜び、「もっと歌って」と何度も言った」という話も聞いた。ひとつの歌を巡って怒る人、喜ぶ人がいる。歴史が持つ事実、生んだ差別、理不尽な様々なことを、日本人として受け止めながら保育にあたっていくことを決心した。1992年、園長に就任。“民族保育”の取り組みは、挨拶・歌手遊び・物語・遊び・体操・ままごと衣装・食事のメニューなど様々な

広がっていった。1994年、たてわり保育を開始。ホーム名を韓国の言葉で表記をする。職員が韓国朝鮮の楽器等を習い、子どもたちの前で披露する“民族保育月間”も始めた。

ー日本と朝鮮半島の歴史ー

- ・ 1910年、日本は朝鮮半島を植民地化《日本の歴史＝日韓併合》した。日本は、朝鮮半島から土地（当時、朝鮮は土地の登記をする決まりを設けていなかった）・文化・人間関係を奪っていった。そして、日本人としての教育が始まる。日本語の強要、母国語の禁止、創始改名、強制連行等が行われ、戦争が激化するにつれて朝鮮半島から日本に渡る人も増えた。1945年、日本敗戦とともに朝鮮半島の解放。今まで日本名で日本人として暮らしていた人が、韓国朝鮮へと戻る機会がやってきた。半島に戻った人もいるが、半島に帰っても、住む家や家族がおらず、戻ることができない人たちがいた。日本に残った人は約60万人におよぶ。その一部の人たちおよびその子孫が、生野にいる2, 3, 4世の人たちである。日本敗戦後の1948年、朝鮮半島の38度線より北をソビエト連邦が統治下に置き、南をアメリカが統治下に置いた。南北が分断となる分割統治の発端を日本は担っている。

ー“民族保育”の目指すものー

- ・ “民族保育”の目指すものとして、「◎韓国朝鮮人の子どもたちが、自国の出身であることに自信や誇りを持つ。◎日本人の子どもたちが、韓国朝鮮の子どもたちを仲間だと実感する。◎韓国朝鮮人の子どもたちが、共に生きていく力を身につける」の3点を掲げている。「多文化共生保育」という言葉があるが、「文化」は大切なものであるが、「文化を共に生きること」が目的ではない。「あなたと私」という人との関係を築いていきたい。だから「多文化共生保育」という言葉ではなく「民族保育」と呼んでいる。
- ・ 保育士でグループをつくり語り合う場を設けている。お互いが日々の保育、特に“民族保育”に焦点を合わせて、職場の中で感じていることを話し合う。「このような場も“民族保育”であり、“そのこと”に自分がどのようにむき合っていくのかという姿が“民族保育”であるともいえる。一言で、整理できないが、“民族保育”とは“同和教育”“民族教育”“多文化共生保育”のあいまいな融合」ということになるのだろうか。
- ・ 私たちは日本人として差別したことはないだろうか。在日の人たちに選挙権が無いということを知っているだろうか。選挙に行っているだろうか。LGBTに代表される様々な性があるということを知っているだろうか。知らず知らずに人を分け、その人の在り方を抹消するという現実があるのではなだろうか。差別はどんどんと見えなくなっている。言葉や態度には出さない人の心の中で起こっている差別が進んでいると感じる。大阪聖和保育園の子どもたちが大きくなって自分と出会う時、“民族保育”が力になってほしいと願っている。

(2)第2回 愛着の傷を回復する

- ◆ 日 程 2018年1月31日(水) 19:15~21:00
- ◆ 会 場 育徳園 幸分ホール
- ◆ 講 師 飯田 信也さん 大阪市立総合医療センター 児童青年精神科部長
- ◆ 内 容

- ・ わかくさ保育園の一人の子ども事例をもとに、「愛着の傷」の発生から「愛着の修復/回復」に向けてどのように関わっていけば良いのかを、医療の視点からお話して下さった。
- ・ A君が生まれて間もなく、実父のDVにより両親は離婚。母が過量服薬をし、本児を育てることが困難になった為、本児は地域のファミリーホームへ入所する。その後、再統合となり

母親も再婚するが、継父から身体的虐待を受ける。

- ・ このような経験から、自己肯定感の低さや情緒不安定な姿が見られるA君。また、トラウマを抱え、解離の症状もみられるとのこと。解離とは、ひどい目にあった体験を受け止めきれずに、なかったこととして切り離す症状のこと。その経験は、決して忘れた訳ではない。このように心に傷を抱えた子どもには、気持ちを受け止め、安心感を与えることのできる大人が側にいることが必要である。その支えになる人は、実の親でなくても（血縁を超えて）大丈夫とのことだった。
- ・ また、A君の母親へのケアも大切。大人は、快よりも不快の方が敏感であり、嬉しいや喜びの共感よりも、痛みへの共感が重要になってくるとのこと。母親が安心して話をするのできる人、居場所をどのように作り上げていくのかとすることは非常に重要である。西成には、MyTreeペアレンツ・プログラムという虐待へ追いやられた親の回復を目指した治療的支援を行っている場がある。親が子どもに向けてしまいがちな否定的な視点を肯定的な視点へと変えていく支援プログラムなどを行っている。このように様々なつながりを通して、医療、福祉、教育、地域、当事者などの様々な主体が連携、協働をすることで権利を守っていくことができるようにしていきたい。精神科医は、診断のもつ力で、「専門家に守ってもらえている」という安心感のもと、人と人とのつながりを大切にしている。利用者主体を、医療、地域、施設が架け橋となり守っていくことのできる関係性を作っていきたい。

7. 各種分野別研究会

I. 地域の子育て支援研究会

①活動報告

(1)地域の子ども研究会・地域の子育て支援研究会合同研修会の開催

開催日時：6月23日（金）18：30～

テーマ：幼児保育から学校教育への接続期の課題・不安を探る。

～アンケート調査を踏まえて～

内容：“接続期の課題・不安”について焦点をあてる。乳幼児期から学童期へ連続した支援について、アンケートをもとに理解を深める。

《1部》4・5歳児の遊びについての情報交換（職員間交流も兼ねる）

《2部》小学校教諭による講演

「1年生の就学直後の様子や保護者の姿について」

Ⅱ. 地域の子ども研究会

①年間テーマ

「地域の子どもたちの豊かな生活・成長を目指す」

②活動報告

(1)合同行事の実施

○ともだちドッジボール大会

開催時期：2017年5月28日(日)

参加人数：11施設 小学生268名 中高生15名

- ・ 「交流」を意識し、施設の枠を越え、昨年に引き続き合同チームを作って取り組む。

○ともだちフェスティバル

開催時期：2017年11月26日(日)

参加人数：11施設 小学生194名 中高生10名

- ・ 各施設でブースを作る（一部は合同ブースあり）。各ブースを周り、イベントに参加して交流を図る。

(2)情報交換

- ・ 現場での悩みや疑問、活動内容を発信し、即実践に活かすことのできる情報交換を実施した。また、ケース検討を通して、各指導員の視点を参考にしながら、普段の子どもとの関わりを見直す。

(3)研究活動

○テーマ：「幼児保育から学校教育への接続機関の課題・不安を探る」

～幼児保育・学校教育・学童保育への意識の共有、連携を目指して～

- ・ 前年度のアンケートの結果を分析して、児童部会や小学校の先生を招いての研修会につなげる。また、前年度の内容を深めるために再アンケートを行う。

○テーマ：「学童期の遊びについて」

- ・ 施設内外の遊びについて各指導員で調査する。施設外（家庭で）の遊びではテレビゲームが多かったり、スマホの普及などの社会情勢を見て、児童部会ではテレビゲームを題材にする。後半は施設内での遊び、子どもとの関わりについて話し合う。

(4)研修活動

○児童部会

日 時：9月23、24日

テーマ：「幼児期の関わりと小学生の実態」

○研修会

日 時：6月23日(金)

テーマ：「幼児保育から学校教育への接続機関の課題・不安を探る」

- ・ 前半は、「4、5歳児の遊び」について、参加者で情報交換、共有する。後半は、小学校の先生を招いての座談会を行う。小学校の先生からの視点や要望を聞いたり、小学校への疑問を尋ねる。

Ⅲ. 地域の障がい児・者研究会

①活動報告

第1・2・4・8回 望之門保育園 第3・6・7・10・11・12回 育徳園
 第9回 わかくさ保育園 (午後7時30分～9時開催)

第1回	4/18	・研究会メンバーの確認と役割分担。 ・今年度の活動計画。
第2回	5/16	・「人権について考える」
第3回	6/28	・「人権について考える II」
第4回	7/18	・支援者座談会の計画 ・「人権について考える III」
第5回	9/5	・支援者座談会の計画 全国研修会分科会について
第6回	10/3	・支援者座談会を具体化する 全国研修会分科会について
<u>支援者座談会</u>	10/24	会 場：育徳園保育所 3階幸分ホール（参加者 34名） テーマ：「子どもたちとの関わりの中でのよろこび、楽しみから私たちの仕事の意義を考える」
第7回	11/7	支援者座談会の振り返り 「障がいのある子ども、おとなの地域における生活の支援を考える」
第8回	12/6	「あたりまえの暮らしとは何か？」意思決定の支援とは何かを考える
第9回	1/9	「地域の中で見えなくなっている問題、あたりまえに生活するとは？」
第10回	1/30	全国研修会分科会について 参加数確認、タイムスケジュール検討
第11回	2/13	全国研修会分科会について 運営の最終確認、準備物確認ほか
第12回	3/13	全国研修会の振り返り 平成30年度「研究会は何を目指しているか」

※「 」内は研究会メンバーによる討議のテーマ

IV. セツルメント研究会

①活動報告

(1)研究会の開催

- ・ 今年度の研究会は、セツルメント精神の現代化（理論と実践）と新たな社会問題・地域課題の解決と予防という視点で研究・研修活動に取り組んだ。

会場：わかくさ保育園 時間：19時30分～21時ごろ

第1回	6/6	第22回全国研修会 事前研修会（全体研修会）企画
第2回	7/11	全体研修会 企画会議
第3回	8/1	当事者の視点から地域福祉を考える
第4回	9/25	一人一人を大切にする地域福祉とは
第5回	11/25	理想と現実の狭間で悩む私たち 民族保育とは
第6回	11/30	生野区で取り組む民族保育から人権を考える
第7回	12/22	福祉、医療の連携と共同を考える 精神医療の世界から
第8回	1/31	愛着の傷を回復する ～医療と福祉の連携のこれから～

(2)研修会の開催

- ・ 全体研修会（地域福祉研修会）の主催をおこなった。地域福祉施設の実践から学び、他分野（医療）
- ・ との連携と協働を模索し、地域福祉の未来を語る研修会を年に2回開催した。また、この研修会は、第22回全国地域福祉施設研修会（大阪大会）の事前学習会としても位置づけて取り組んだ。

第1回	11/30	「理想と現実の狭間で悩む私たち」 ～一人ひとりを大切にする地域福祉とは～ 講師 森本 宮仁子さん（大阪聖和保育園 事務局長） 会場 育徳園保育所 幸分ホール
第2回	1/31	「愛着の傷を回復する」 講師 飯田 信也さん （大阪市立総合医療センター 児童青年精神科部長） 会場 育徳園保育所 幸分ホール ※社会問題研究会と共催

- ・ 研修会の詳細は、全体研修会の欄に記載。

8. 職員厚生部

①ねらい

- ・ 施設間の職員交流を深める。

②活動報告

○新年会

- ・ 平成30年1月12日（金） 会場：なんばパークス 旬和席 うおまん
- ・ 37名（17施設、個人会員2名）参加

9. 広報宣伝部

①ねらい

- ・ ホームページ及びメーリングリストを使い、大地協の取り組みを、活動に協力・賛同いただいている方々（加盟施設、個人会員、利用者等）に報告する。

②活動報告

- ・ メーリングリストを利用して、加盟施設及び個人会員に業務連絡や研修の案内を随時送信した。
- ・ ホームページに、各研究会の案内及び報告、バザーのお知らせ及び報告、日地協の全国研修の案内などを随時掲載した。
- ・ ホームページに、「地域福祉の諸問題 第1号」を掲載した。
- ・ 今年度より、大地協の活動をよりオープンにするため、役員会及び企画委員会の報告も掲載した。

2017年度 特定非営利活動に係る事業会計 収支決算書

(1枚目/2枚中)

科目		決算額	予算額	増減(△)	備考
収入	正会員会費	585,000	600,000	△ 15,000	
	個人正会員会費	42,000	60,000	△ 18,000	
	調査研究・研修事業収入	0	10,000	△ 10,000	
	まちづくり事業収入	0	0	0	
	スポーツ文化的事業収入	318,400	200,000	118,400	
	自然体験事業費	5,273,055	5,150,000	123,055	
	小中高生の生活体験事業収入	0	0	0	
	寄付金収入	430,000	480,000	△ 50,000	
	受取利息	58	60	△ 2	
	雑収入	4,400	2,000	2,400	
	拠点区分繰入金収入	1,664,055	910,000	754,055	
	収入合計	8,316,968	7,412,060	904,908	
支出	事務費	178,320	180,000	△ 1,680	
	会議費	132,171	100,000	32,171	
	会費	115,000	150,000	△ 35,000	
	調査研究・研修事業費	91,246	100,000	△ 8,754	
	まちづくり事業費	0	0	0	
	スポーツ文化的事業費	341,168	200,000	141,168	
	自然体験事業費	4,730,321	5,330,000	△ 599,679	
	管理費	120,000	120,000	0	
	バス借料	2,921,410	2,600,000	321,410	
	備品・寝具	138,422	310,000	△ 171,578	
	修繕費	676,490	1,535,000	△ 858,510	
	保険料	42,580	55,000	△ 12,420	
	光熱水費(電話)	471,099	430,000	41,099	
	固定資産税	88,800	90,000	△ 1,200	
	自治会協力費	202,722	50,000	152,722	
	ワークキャンプ経費	68,798	140,000	△ 71,202	
	雑費	0	0	0	
	小中高生の生活体験事業費	0	0	0	
	雑費	39,614	400,000	△ 360,386	
	予備費	0	0	0	
拠点区分繰入金支出	1,664,055	910,000	754,055		
支出合計	7,291,895	7,370,000	△ 78,105		
収支	収支差額	1,025,073	42,060	983,013	
	前年度繰越金	7,014,188	7,014,188	0	
	次年度繰越金	8,039,261	7,056,248	983,013	

2017年度 特定非営利活動に係る事業会計 収支決算書(拠点ごと)

(2枚目/2枚中)

拠点		事務局/職員厚生部/広報宣伝部			セツルの家			山の家		
科目	決算額	予算額	増減(Δ)	決算額	予算額	増減(Δ)	決算額	予算額	増減(Δ)	
収入	正会員会費	585,000	600,000	Δ 15,000	0	0	0	0	0	0
	個人正会員会費	42,000	60,000	Δ 18,000	0	0	0	0	0	0
	調査研究・研修事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	まちづくり事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	スポーツ文化的事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自然体験事業費	0	0	0	4,359,900	4,500,000	Δ 140,100	0	0	0
	小中高生の生活体験事業収入	0	0	0	0	0	0	50,000	Δ 50,000	0
	寄付金収入	350,000	200,000	150,000	80,000	280,000	Δ 200,000	0	0	0
	受取利息	46	60	Δ 14	0	0	0	12	0	12
	雑収入	3,000	2,000	1,000	1,400	0	1,400	0	0	0
拠点区分繰入金収入	657,629	0	657,629	791,155	635,000	156,155	105,705	185,000	Δ 79,295	
収入合計	1,637,675	862,060	775,615	5,232,455	5,415,000	Δ 182,545	105,717	235,000	Δ 129,283	
支出	事務費	159,408	160,000	Δ 592	18,912	20,000	Δ 1,088	0	0	0
	会議費	132,171	100,000	32,171	0	0	0	0	0	0
	会費	115,000	150,000	Δ 35,000	0	0	0	0	0	0
	調査研究・研修事業費	51,246	0	51,246	0	0	0	0	0	0
	まちづくり事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	スポーツ文化的事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自然体験事業費	0	0	0	4,555,914	5,095,000	Δ 539,086	105,609	235,000	Δ 129,391
	管理費	0	0	0	120,000	120,000	0	0	0	0
	バス燃料	0	0	0	2,921,410	2,600,000	321,410	0	0	0
	備品・器具	0	0	0	138,422	310,000	Δ 171,578	0	0	0
修繕費	0	0	0	676,490	1,535,000	Δ 858,510	0	0	0	
保険料	0	0	0	17,680	20,000	Δ 2,320	0	0	0	
光熱水費・電話	0	0	0	390,390	350,000	40,390	24,900	35,000	Δ 10,100	
固定資産税	0	0	0	88,800	90,000	Δ 1,200	80,709	80,000	709	
自治会協力費	0	0	0	202,722	0	202,722	0	0	0	
ワークキャンプ経費	0	0	0	0	70,000	Δ 70,000	0	0	0	
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小中高生の生活体験事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
雑費	39,506	100,000	Δ 60,494	0	300,000	Δ 300,000	108	0	108	
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
拠点区分繰入金支出	115,271	910,000	Δ 794,729	657,629	0	657,629	0	0	0	
支出合計	612,602	1,420,000	Δ 807,398	5,232,455	5,415,000	Δ 182,545	105,717	235,000	Δ 129,283	
収支	1,025,073	Δ 557,940	1,583,013	0	0	0	0	0	0	
前年度繰越金	7,014,188	7,014,188	0	0	0	0	0	0	0	
次年度繰越金	8,039,261	6,456,248	1,583,013	0	0	0	0	0	0	

拠点		ワークキャンプ			バザー			地域の子ども研究会		
科目	決算額	予算額	増減(Δ)	決算額	予算額	増減(Δ)	決算額	予算額	増減(Δ)	
収入	正会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	個人正会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	調査研究・研修事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	まちづくり事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	スポーツ文化的事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自然体験事業費	22,000	0	22,000	891,155	600,000	291,155	318,400	200,000	118,400
	小中高生の生活体験事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
拠点区分繰入金収入	46,798	0	46,798	0	0	0	22,768	30,000	Δ 7,232	
収入合計	68,798	0	68,798	891,155	600,000	291,155	341,168	230,000	111,168	
支出	事務費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	調査研究・研修事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	まちづくり事業費	0	0	0	0	0	0	0	30,000	Δ 30,000
	スポーツ文化的事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自然体験事業費	68,798	0	68,798	0	0	0	341,168	200,000	141,168
	管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	バス燃料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	備品・器具	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
光熱水費・電話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
固定資産税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
自治会協力費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ワークキャンプ経費	68,798	0	68,798	0	0	0	0	0	0	
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小中高生の生活体験事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
拠点区分繰入金支出	0	0	0	891,155	0	891,155	0	0	0	
支出合計	68,798	0	68,798	891,155	0	891,155	341,168	230,000	111,168	
収支	0	0	0	0	600,000	Δ 600,000	0	0	0	
前年度繰越金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
次年度繰越金	0	0	0	0	600,000	Δ 600,000	0	0	0	

拠点		地域の子育て支援			地域の障がい児・者			セツルメント研究会		
科目	決算額	予算額	増減(Δ)	決算額	予算額	増減(Δ)	決算額	予算額	増減(Δ)	
収入	正会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	個人正会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	調査研究・研修事業収入	0	0	0	0	10,000	Δ 10,000	0	0	0
	まちづくり事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	スポーツ文化的事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自然体験事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小中高生の生活体験事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
拠点区分繰入金収入	0	0	0	0	20,000	Δ 20,000	40,000	40,000	0	
収入合計	0	0	0	0	30,000	Δ 30,000	40,000	40,000	0	
支出	事務費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	調査研究・研修事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	まちづくり事業費	0	0	0	0	30,000	Δ 30,000	40,000	40,000	0
	スポーツ文化的事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自然体験事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	バス燃料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	備品・器具	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
光熱水費・電話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
固定資産税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
自治会協力費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ワークキャンプ経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小中高生の生活体験事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
拠点区分繰入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
支出合計	0	0	0	0	30,000	Δ 30,000	40,000	40,000	0	
収支	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
前年度繰越金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
次年度繰越金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

会長 永岡 正己 様


NPO 法人 大阪市地域福祉施設協議会の監査結果について

帳簿、領収書等精査した結果、適正に処理されていることを確認いたしましたことをご報告いたします。

2018年4月24日（月）

NPO 法人 大阪市地域福祉施設協議会

監事

戸田 正三 

監事

篠瀬 実千代 

2018年度事業計画（案）

1. 総会、役員会、委員会の活動

① 総会の開催

2018年度総会 5月21日（月）大阪市立社会福祉センター

② 役員会の開催 （随時）

③ 施設長会の開催 （随時）

④ 各種委員会の開催

- ◆ 定例企画委員会 事業等の企画・運営・調整
- ◆ 拡大企画委員会 事業等の企画・運営
- ◆ 研修委員会 各種分野別研究会等の計画・実施

- ① 地域の子ども研究会
- ② 地域の子育て支援研究会
- ③ 地域の障がい児・者研究会
- ④ セツルメント研究会

- ◆ 自然体験施設事業委員会 ①びわこ青柳浜 セツルの家の運営と活動
ワークキャンプ活動（小・中・高生）
②びわこセツルの家改修工事

《 特別委員会 》

- ◆ バザー実行委員会 第20回自然体験施設応援バザーの企画、運営
- ◆ 全国研修会準備委員会 日地協主催 第23回全国地域福祉施設研修会東京大会
- ◆ 全国児童部会準備委員会 日地協主催 第17回全国地域福祉施設研修会児童部会

2. 年間行事

5月21日	大阪市地域福祉施設協議会総会	大阪市立社会福祉センター
5月27日	第33回 ともだちドッジボール大会	長 居 小
6月7~8日	第60回 大都市社会福祉施設協議会	福 岡 市
7~8月	びわこキャンプ場 セツルの家の利用	滋賀県大津市青柳浜
9月	第17回 全国地域福祉施設研修会児童部会	名 古 屋 市
11月11日	第20回 自然体験施設応援バザー	風の子保育園
11月18日	第48回 ともだちフェスティバル	(未 定)
1月12日	第24回 こども将棋大会	育徳園早川記念ホール
1月 日	新年会	(未 定)
2月16~17日	第23回 全国地域福祉施設研修会	東 京 都

3. びわこキャンプ場セツルの家の運営

①年間事業計画

・ 5月	セツルの家下見	セツルの家
・ 5月15日	セツルに家利用打ち合わせ会	長居保育園
・ 7月 1日	セツルの家ワークキャンプ	セツルの家
・ 7月30日	セツルの家開設準備	セツルの家
・ 7月~8月	セツルの家夏季利用	セツルの家
・ 7月、8月	セツルの家消防訓練	セツルの家
・ 9月1/4日	セツルの家夏季利用片付け	セツルの家
・ 9月16~17日	中高生キャンプ	セツルの家
・ 9月~3月	セツルの家夏季外利用	セツルの家

②施設整備

- ・ 浜、駐車場の清掃、草刈り、整備
- ・ 浜東側、溝の清掃、整備
- ・ 別棟の補修工事（柱、壁、窓の補修、及び床のフローリング化）

4. ワークキャンプ

①活動計画

- ・ 7月1日（日）、琵琶湖セツルの家を拠点としたワークキャンプ活動を実施していく予定。
- ・ ワークキャンプが出会いの場であり、つながり合える大切な場所となるように活動していきたい。

5. 自然体験施設応援バザー

①第20回 自然体験施設応援バザー

日 程 2018年 11月 11日（日）
開催場所 風の子保育園

6. 職員の研修会の開催・参加

① 全国地域福祉施設研修会 第17回児童部会

- ◆ 日 程 未 定
- ◆ 開催場所 名古屋市（予定）
- ◆ 主 催 日本地域福祉施設協議会
東海地区地域福祉推進協議会

② 2018年度 第23回全国地域福祉施設研修会

- ◆ 日 程 2019年 2月 16日（土）～ 17日（日）（予定）
- ◆ 開催場所 東京（予定）
- ◆ 主 催 日本地域福祉施設協議会
東京都城東地区地域福祉施設協議会

③ 全体研修会（地域福祉研修会）の実施

- ・ 日程、開催場所、詳細については未定。
- ・ これまで大地協が大切にしてきた理念や先人の思い、実践などから学び、共有していくとともに、これからの地域福祉施設、職員のあり方を議論し合える場を提供する。
- ・ 広く地域や様々な領域に向けての研修会なども企画し、住民をはじめとしたさまざまな主体とともに学び、地域福祉の向上や新たな地域課題の発掘から解決、予防まで目指した活動に取り組む。

7. 各種分野別研究会

I. 地域の子育て支援研究会

①目的

- ・ 新しいメンバーの加入により3年ぶりに再始動する。
- ・ 大きな研修会ではなく、日常の保育の中での戸惑いや悩みなど気軽に相談できる場となるような研究活動を進めていく。
- ・ 情報交換と職員交流を目的として一年活動する中でニーズを探る。そのニーズを来年度の活動に繋げたいと考えている。

②活動内容

(1)2ヶ月に一回の研究会

5月	こんなときどうする？①	～食事と排泄～
7月	こんなときどうする？②	～遊びと環境～
	【地域の子ども研究会合同研修】～就学を見据えて～	
9月	こんなときどうする？③	～睡眠と着脱～
11月	どんなことしてる？①	～防災を考える～
1月	どんなことしてる？②	～地域の人とつながろう！～

上記の内容で情報交換をする。

②地域の子ども研究会との合同研修会

2017年度地域の子ども研究会研究活動テーマ『幼児保育から学校教育への接続期の課題・不安を探る～幼児保育・学校教育・学童保育へ意識の共有、連携を目指して～』での研究活動報告を受けて、子どもたちの接続時期に伴う子ども・保護者の不安を知り、軽減に繋がるよう、意見交換・討議を行う。保育士と学童指導員双方の視点で討議する事でお互いに視野を広げ理解を深められるよう目指す。

Ⅱ. 地域の子ども研究会

①年間テーマ

「地域の子どもたちの豊かな生活・成長を目指す」
～踏み出す努力・視点・研究・還元～

②活動計画

(1)開催について

- 開催日：年間予定内の金曜日（原則隔週） 開催時間：10：00～12：00
- 会場：研究会参加施設

※開催回数につきましては、取り組んでいる研究・研修会や行事の準備など、必要最低限の回数のみ実施いたします。詳細は、毎月の通信で各施設にお知らせいたします。

(2)活動の4つの柱

(ア)子どもたちとの活動(合同行事等)

- ・ 2018年度子どもたちとの活動では「出会い、知り、繋がろう」を目標に掲げ、合同行事で生まれる子どもたちの出会いとふれあいを得るために取り組みます。
- ・ 他施設の子どもたちや、地域の子どもたちと合同行事を通じ、子どもたちが主体的に繋がろうと思えるよう、きっかけや環境作りに取り組みます。他施設の子どもと指導員（大人）との関りや、指導員が子ども同士を繋ぐ役割を担い、更に合同行事が地域と繋がる場になる事を目指し、企画します。
- ・ そして中高生が大地協との繋がりを感じ、自己発揮ができる居場所となる活動、学童期から中高生へと連続した関わりの中で、充実した活動となるように取り組んでいきます。
- ・ 合同行事以外でも子ども同士の繋がりを意識できるようにきっかけを作る事も役割として担い、それぞれの子どもたちの「今」だけではない「先（未来）」の豊かさにも繋がっているという願いを込めて活動に取り組みます。

(イ)情報交換

- ・ 学童期の子どもたちと関わる支援員同士、日々の現場での悩みなどを共有し、積極的に情報を獲得しに行く事を意識し、意見交換、ケース検討という形で共有します。また年数を重ねた指導員より伝えるべき事も共有していきます。そして実践に活かせるように、個々の視野を広げ、スキルアップへ繋がるように実施いたします。

(ウ)研究活動

- ・ 学童支援員（放課後児童支援員）・地域福祉施設職員としての専門性を高める為、自ら学び共に研究します。研究活動内容をスタッフ間で協議し、2018年度は“不登校児の実態について”“防災・減災・災害後について”“学童期の心身の発達段階を掴む”というテーマで研究を行ってまいります。上記テーマで実践を伴い、研究を深め、更に研究会スタッフ間に留まらず自施設の子ども達や職員に学びを還元できるように、テーマ設定を行いました。その中で得たことを、研修会として企画、実施していく事を視野に入れ、計画的に活動してまいります。

- ・ 尚、2016 年度より継続していた「幼児保育から学校教育への接続期の課題」の研究は、調査結果を用いて、様々な職種での支店で更に学びを深められるように今後研修会を開催します。

(エ)研修活動

- ・ 個々の学びや加盟施設職員のスキルアップにも繋がる研修会を目指し、実施内容を検討していきます。
- ・ 例年実施してきた研修会のねらいや役割を整理し、個々の学びや加盟施設職員のスキルアップにもつながる研修会を目指し、実施内容を検討していきます。
- ・ 企画に向けては、地域の子ども研究会のみならず、大地協本部・加盟各施設・在籍職員の協力を仰ぎ、地域の子ども研究会が企画主体となり実施に向けて進めていきます。
- ・ また、他の研究会とも連携した研修会を目指し、地域の子ども研究会としての視野を広め、学びを深めます。各研究会の方々と専門分野を越えた横のつながりを持ち、合同研修を通じて新たな気付きや取り組みの方法を見つけます。
- ・ 2018 年度は、2016 年度より継続していた「幼児保育から学校教育への接続期の課題」で得た調査結果を用いて、同じ接続期に関わる保育園年長児担任の保育士や、小学生に関わる職員と共に、様々な視点で結果を分析・考察できるよう、地域の子育て支援研究会と共に企画します。その中で新たな気付きや得た視点を、児施設・子ども達との生活・地域で活かせるよう地域の子ども研究会へ持ち帰り、共有します。

地域の子ども研究会は、以上 4 つの柱から学び、得られるものを、子どもたちへ、施設へ、地域へ、とかえす意識と役割を持ち、研究会での活動に取り組みます。

③合同行事の実施日程(予定)

※ 5月27日(日)第33回ともだちドッジボール大会

※ 11月18日(日)(仮)ともだちフェスティバル

Ⅲ. 地域の障がい児・者研究会

①活動方針

「地域の中で暮らしていく上での問題とは何かを明確にする」－発見

「地域の中で暮らしていく上ではどのような支援が必要なのかを明確にする」－実践

「共に学び、共に語る」－対等

②活動の柱

(1)事例研究により学びを深める

テーマ：障がい児・者研究会が考える「人権」と「平和」

- ・ 研究会メンバー個々の事例をもとに討議を繰り返す行う。

(2) 支援者座談会の開催

- ・ 2回（10月、2月）を予定
- ・ 保育士・指導員・放課後児童支援員などを対象に開催。
- ・ 日常の現場での悩みや相談、質問などを話し合う場とする。

(3) 施設見学の実施

- ・ 放課後等児童デイサービス施設など、大地協加盟施設に所属していない施設とのつながりを大切にし、ともに学びを深めていく。

③大切にしたい視点

- ・ 障がいのある子ども本人の権利と主体性
- ・ 障がいのある子どもの保護者の権利と主体性
- ・ 障がいのある子どもと関わる職員のスキルアップ
- ・ 地域住民の理解
- ・ 多くの機関とのネットワーク

IV. セツルメント研究会

①ねらい

セツルメント精神の現代化（理論と実践）と新たな社会問題や地域課題の解決と予防という視点を持ち、研究、研修活動に取り組む。研究活動に関しては、研究誌「地域福祉の諸問題」への掲載など、研究成果を広く社会に発信、還元する。また、研究活動では、日々の地域福祉実践から見えてきた課題や事例の検討などを通して地域に暮らすすべての人が安心して生活できる社会づくりに向けた学習会を行う。

②活動計画

(1) 研究活動

- ・ セツルメント研究会を開催し、地域福祉とは何かを問う。そして、「人権と平和の視点から、今おこっている具体的な問題の解決と予防に向けた実践を生み出す」ということを目標に研究を進め、地域福祉の諸問題（大地協研究誌）への掲載など、広く社会へ発信する。

(2) 研修活動

○全体研修（地域福祉研修）

- ・ 福祉現場において長年にわたる地域福祉実践、セツルメント活動に取り組まれた方を講師に招き、大地協の歴史から学ぶことで、その精神の継承と現代におけるセツルメントの意義を語ることのできる研修会を開催する。

○交流型研修会の開催

- ・ 大地協加盟施設の施設内研修などに交流研修という形で相互的に参加することのできる仕組みを作り、日常業務（保育、介護、療育、様々な支援など）のなかで、地域福祉の視点を持ち、セツルメントとは何かということをも身近に感じ、考えることのできるような取り組みを行う。また、その中で施設や業種、分野の壁を超えたきめ細やかな支援ネットワークの形成や精神でのつながりを目指す。

○先進的な活動をされている団体などとの連携

- ・ 先進的な取り組みや全国でセツルメント的な活動をされている諸団体との連携、交流などに取り組む。適宜必要なテーマに合わせた講演会の開催や映画上映、先進事例の視察などを計画している。例えば、子どもの貧困問題への取り組みや、現在注目されている社会的養育の視点などを検討している。

8. 職員厚生部

①ねらい

- ・ 施設間の職員交流を深める。

②活動計画、内容

- ・ 9月頃 夏を惜しむ会
- ・ 12月頃 平成30年を振り返る会
- ・ 1月 新年会

※ 美味しい料理を食べ、心、身体の疲れを癒す交流会を企画していく。

施設間の交流を深める為、職場紹介や仕事観の違いなど、互いに話せる場、また新人職員も参加しやすい、あたたかい雰囲気作りを大切にしていく

9. 広報宣伝部

①ねらい テーマ

- ・ ホームページに大地協の活動を随時掲載し取り組みを広く一般に周知する。
- ・ メーリングリストを使い、加盟施設及び個人会員に事務連絡や研修の案内を随時送信する。

②活動計画

- ・ ホームページに、大地協の年間活動報告、地域福祉の諸問題、各研究会の案内及び報告、バザーのお知らせ及び報告など活動を何でも掲載することによって、大地協の取り組みを周知する。
- ・ メーリングリストを使い、加盟施設及び個人会員に事務連絡や研修の案内を随時送信する。
- ・ 加盟施設職員でメールでの配信を希望する方に送信することができないのか検討する。

2018年度 特定非営利活動に係る事業会計 収支予算書

(1枚目/2枚中)

科目		予算額	前年度予算額	増減(△)	備考
収入	正会員会費	675,000	600,000	75,000	
	個人正会員会費	45,000	60,000	△ 15,000	
	調査研究・研修事業収入	0	10,000	△ 10,000	
	まちづくり事業収入	0	0	0	
	スポーツ文化的事業収入	320,000	200,000	120,000	
	自然体験事業費	5,165,000	5,150,000	15,000	
	小中高生の生活体験事業収入	25,000	0	25,000	
	寄付金収入	380,000	480,000	△ 100,000	
	受取利息	12	60	△ 48	
	雑収入	1,400	2,000	△ 600	
	拠点区分繰入金収入	1,605,888	910,000	695,888	
	収入合計	8,217,300	7,412,060	805,240	
支出	事務費	180,000	180,000	0	
	会議費	100,000	100,000	0	
	会費	115,000	150,000	△ 35,000	
	調査研究・研修事業費	250,000	100,000	150,000	
	まちづくり事業費	0	0	0	
	スポーツ文化的事業費	350,000	200,000	150,000	
	自然体験事業費	4,677,300	5,330,000	△ 652,700	
	管理費	120,000	120,000	0	
	バス借料	2,930,000	2,600,000	330,000	
	備品・寝具	140,000	310,000	△ 170,000	
	修繕費	500,000	1,535,000	△ 1,035,000	
	保険料	42,580	55,000	△ 12,420	
	光熱水費(電話)	481,000	430,000	51,000	
	固定資産税	88,800	90,000	△ 1,200	
	自治会協力費	0	50,000	△ 50,000	
	ワークキャンプ経費	70,000	140,000	△ 70,000	
	雑費	304,920	0	304,920	
	小中高生の生活体験事業費	0	0	0	
	雑費	40,000	400,000	△ 360,000	
	予備費	0	0	0	
拠点区分繰入金支出	1,605,888	910,000	695,888		
支出合計	7,318,188	7,370,000	△ 51,812		
収支	収支差額	899,112	42,060	857,052	
	前年度繰越金	8,039,261	7,014,188	1,025,073	
	次年度繰越金	8,938,373	7,056,248	1,882,125	

2018年度 特定非営利活動に係る事業会計 収支予算書

(2枚目/2枚中)

拠点 科目		事務局/職員厚生部/広報宣伝部			セツルの家			山の家		
		予算額	前年度予算額	増減(Δ)	予算額	前年度予算額	増減(Δ)	予算額	前年度予算額	増減(Δ)
収入	正会員会費	675,000	600,000	75,000	0	0	0	0	0	0
	個人正会員会費	45,000	60,000	Δ 15,000	0	0	0	0	0	0
	調査研究・研修事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	まちづくり事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	スポーツ文化的事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自然体験事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小中高生の生活体験事業収入	0	0	0	4,440,000	4,500,000	Δ 60,000	0	50,000	Δ 50,000
	寄付金収入	300,000	200,000	100,000	80,000	280,000	Δ 200,000	0	0	0
	受取利息	0	60	Δ 60	0	0	0	12	0	12
	雑収入	0	2,000	Δ 2,000	1,400	0	1,400	0	0	0
拠点区分繰入金収入	700,000	0	700,000	600,000	635,000	Δ 35,000	205,888	185,000	20,888	
収入合計	1,720,000	862,060	857,940	5,121,400	5,415,000	Δ 293,600	205,900	235,000	Δ 29,100	
支出	事務費	160,000	160,000	0	20,000	20,000	0	0	0	0
	会議費	100,000	100,000	0	0	0	0	0	0	0
	会費	115,000	150,000	Δ 35,000	0	0	0	0	0	0
	調査研究・研修事業費	200,000	0	200,000	0	0	0	0	0	0
	まちづくり事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	スポーツ文化的事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自然体験事業費	0	0	0	4,501,400	5,095,000	Δ 593,600	105,900	235,000	Δ 129,100
	管理費	0	0	0	120,000	120,000	0	0	0	0
	バス燃料	0	0	0	2,930,000	2,600,000	330,000	0	0	0
	備品・消耗	0	0	0	140,000	310,000	Δ 170,000	0	0	0
	修繕費	0	0	0	500,000	1,535,000	Δ 1,035,000	0	0	0
	保険料	0	0	0	17,680	20,000	Δ 2,320	24,900	35,000	Δ 10,100
	光熱水費・電話	0	0	0	400,000	350,000	50,000	81,000	80,000	1,000
	固定資産税	0	0	0	88,800	90,000	Δ 1,200	0	0	0
	自治会協力費	0	0	0	0	0	0	0	50,000	Δ 50,000
	ワークキャンプ経費	0	0	0	0	70,000	Δ 70,000	0	70,000	Δ 70,000
	雑費	0	0	0	304,920	0	304,920	0	0	0
	小中高生の生活体験事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	雑費	40,000	100,000	Δ 60,000	0	300,000	Δ 300,000	0	0	0
	予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	拠点区分繰入金支出	205,888	910,000	Δ 704,112	600,000	0	600,000	100,000	0	100,000
支出合計	820,888	1,420,000	Δ 599,112	5,121,400	5,415,000	Δ 293,600	205,900	235,000	Δ 29,100	
収支	収支差額	899,112	Δ 557,940	1,457,052	0	0	0	0	0	0
	前年度繰越金	8,039,261	7,014,188	1,025,073	0	0	0	0	0	0
	次年度繰越金	8,938,373	6,456,248	2,482,125	0	0	0	0	0	0

拠点 科目		ワークキャンプ			バザー			地域の子ども研究会		
		予算額	前年度予算額	増減(Δ)	予算額	前年度予算額	増減(Δ)	予算額	前年度予算額	増減(Δ)
収入	正会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	個人正会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	調査研究・研修事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	まちづくり事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	スポーツ文化的事業収入	0	0	0	0	0	0	320,000	200,000	120,000
	自然体験事業費	25,000	0	25,000	700,000	600,000	100,000	0	0	0
	小中高生の生活体験事業収入	25,000	0	25,000	0	0	0	0	0	0
	寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
拠点区分繰入金収入	20,000	0	20,000	0	0	0	30,000	30,000	0	
収入合計	70,000	0	70,000	700,000	600,000	100,000	350,000	230,000	120,000	
支出	事務費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	調査研究・研修事業費	0	0	0	0	0	0	0	30,000	Δ 30,000
	まちづくり事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	スポーツ文化的事業費	0	0	0	0	0	0	350,000	200,000	150,000
	自然体験事業費	70,000	0	70,000	0	0	0	0	0	0
	管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	バス燃料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	備品・消耗	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	光熱水費・電話	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	固定資産税	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自治会協力費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ワークキャンプ経費	70,000	0	70,000	0	0	0	0	0	0
	雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小中高生の生活体験事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	拠点区分繰入金支出	0	0	0	700,000	0	700,000	0	0	0
支出合計	70,000	0	70,000	700,000	0	700,000	350,000	230,000	120,000	
収支	収支差額	0	0	0	0	600,000	Δ 600,000	0	0	0
	前年度繰越金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	次年度繰越金	0	0	0	0	600,000	Δ 600,000	0	0	0

拠点 科目		地域の若きい児・若			セツルメント研究会		
		予算額	前年度予算額	増減(Δ)	予算額	前年度予算額	増減(Δ)
収入	正会員会費	0	0	0	0	0	0
	個人正会員会費	0	0	0	0	0	0
	調査研究・研修事業収入	0	0	0	0	0	0
	まちづくり事業収入	0	0	0	0	0	0
	スポーツ文化的事業収入	0	0	0	0	0	0
	自然体験事業費	0	0	0	0	0	0
	小中高生の生活体験事業収入	0	0	0	0	0	0
	寄付金収入	0	0	0	0	0	0
	受取利息	0	0	0	0	0	0
	雑収入	0	0	0	0	0	0
拠点区分繰入金収入	0	0	0	0	20,000	Δ 20,000	
収入合計	0	0	0	0	30,000	Δ 30,000	
支出	事務費	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0
	会費	0	0	0	0	0	0
	調査研究・研修事業費	0	0	0	0	0	0
	まちづくり事業費	0	0	0	0	30,000	Δ 30,000
	スポーツ文化的事業費	0	0	0	0	0	0
	自然体験事業費	0	0	0	0	0	0
	管理費	0	0	0	0	0	0
	バス燃料	0	0	0	0	0	0
	備品・消耗	0	0	0	0	0	0
	修繕費	0	0	0	0	0	0
	保険料	0	0	0	0	0	0
	光熱水費・電話	0	0	0	0	0	0
	固定資産税	0	0	0	0	0	0
	自治会協力費	0	0	0	0	0	0
	ワークキャンプ経費	0	0	0	0	0	0
	雑費	0	0	0	0	0	0
	小中高生の生活体験事業費	0	0	0	0	0	0
	雑費	0	0	0	0	0	0
	予備費	0	0	0	0	0	0
	拠点区分繰入金支出	0	0	0	0	0	0
支出合計	0	0	0	0	30,000	Δ 30,000	
収支	収支差額	0	0	0	0	0	0
	前年度繰越金	0	0	0	0	0	0
	次年度繰越金	0	0	0	0	0	0

特定非営利活動法人 大阪市地域福祉施設協議会 会員施設一覧表

2018年 5月

	施設名	施設長	〒	所在地	TEL	FAX
1	風の子保育園(子どもの家)	松村 寛	533-0004	東淀川区 小松1-11-8	6328-4019	6328-4030
2	都島児童館	村上 明子	534-0021	都島区 都島本通3-16-10-4F	6921-4385	6921-4385
3	平和の子どもの家(保育園)	松野 五郎	535-0022	旭区 新森 7-1-5	6954-0524	6954-1961
4	育徳園保育所(子どもの家)	倉光 慎二	545-0021	阿倍野区 阪南町 5-12-5	6621-1901	6621-1904
5	阿さひ保育園つくし会(学保)	西山 幸恵	545-0051	阿倍野区 旭町 3-1-6	6631-4718	6631-1607
6	望之門学童クラブ	藤井 道雄	545-0052	阿倍野区 阿倍野筋5-13-17	6651-7741	6652-8841
7	今川学園隣保館(子どもの家)	篠瀬実千代	546-0003	東住吉区 今川 3-5-8	6713-0277	6719-4755
8	さくらんぼ保育園(子どもの家)	万福 潤一	547-0001	平野区 加美北 7-7-10	6791-2007	6791-8035
9	港隣保館子どもの家(保育園)	山口千扶美	552-0015	港区 池島 1-3-47	6571-3182	6571-7503
10	四貫島友隣館(子どもの家)	嶋田 良介	554-0022	此花区 春日出中1-15-13	6461-3713	6462-1072
11	愛染園愛染橋保育園・児童館	小谷 啓二	556-0006	浪速区 日本橋東 2-9-11	6632-5640	6632-5645
12	児童館・今池こどもの家	小谷 啓二	557-0016	西成区 花園北 2-16-26	6632-7020	6632-7020
13	長居保育園(子どもの家)	宮川 ヒサ	558-0004	住吉区 長居東 4-11-16	6691-3669	6691-8292
14	やまと保育園子どもの家	三谷 節子	559-0014	住之江区 北島 3-17-1	6682-1746	6682-1786
15	キリスト教ミード社会館ミード保育園	富田恵美子	532-0028	淀川区 十三元今里1-1-52	6309-7121	6309-7123
16	育徳園(コミュニティセンター)	村尾 光宥	545-0021	阿倍野区 阪南町5-15-28	6621-1901	6629-1979
17	大阪市立西成市民館	河崎 洋充	557-0004	西成区 萩之茶屋 2-9-1	6633-7200	6633-7203
18	東三国デイサービスセンターなみはや	和田美恵子	532-0002	淀川区 東三国 2-12-16	6350-2880	6350-2887
19	水仙の家(高齢者デイサービスセンター)	在町 香月	533-0004	東淀川区 小松 1-12-10	6370-2266	6370-2325
20	特養ひまわりの郷	海老子隆一	534-0021	都島区 都島本通 4-10-19	6924-8880	6924-8883
21	特養いくとく(デイサービスセンター)	加藤 久美	545-0001	阿倍野区 天王寺北3-18-16	6713-1165	6714-1185
22	高齢者デイサービスセンターいくとくⅡ	檜皮 雅子	545-0013	阿倍野区 長池町 18-20	4399-0120	4399-0121
23	愛和デイサービスセンター	安藤 勝子	547-0002	平野区 加美東 1-6-35	6796-3520	6796-3751
24	長居西地域在宅SS ながいの里	樽谷美智子	558-0002	住吉区 長居西 3-1-6	6695-6645	6695-6654
25	地域生活支援センター 風の輪	加藤啓一郎	533-0004	東淀川区 小松 1-13-3	6323-6395	6323-2856
26	都島児童センター	丸山 智子	534-0021	都島区 都島本通 3-4-3	6921-5323	6921-5783
27	愛信保育園	曹 誉戸	544-0032	生野区 中川西 2-5-15	6712-2020	4303-4778
28	松の実保育園	松本 千幸	545-0021	阿倍野区 阪南町1-16-10	6623-5400	6628-8385
29	望之門保育園	金 恵栄	545-0052	阿倍野区 阿倍野筋5-13-17	6651-7741	6652-8841
30	育和白鷺学園(保育園)	寺田 修	546-0002	東住吉区 杭全 3-9-17	6719-2697	6719-2698
31	今川学園(保育園)	篠瀬実千代	546-0003	東住吉区 今川 3-5-8	6713-0277	6719-4755
32	北田辺保育園	戸田 正三	546-0044	東住吉区 北田辺 3-6-4	6713-0915	6713-0925
33	メリーガーデン保育園	天野佐知子	550-0013	西区 新町4-13-16	6532-1360	7501-4278
34	めぐみ保育園	奥田 輝代	551-0011	大正区 小林東2-3-5-101	6553-4025	6553-5005
35	わかかさ保育園(あおぞら保育)	藤川 晴之	557-0004	西成区 萩之茶屋 2-9-2	6633-2965	6633-2970
36	愛染園南港東保育園	萱野 優子	559-0031	住之江区 南港東1-6-3-101	6612-1800	6612-1820
37	大国保育園	竹田 陽子	556-0014	浪速区 大国 2-13-1	6649-6182	6649-5821
38	アフタースクールKIDSなみよけ	野上 千春	552-0001	港区 波除 4-4-18	6583-5230	6583-5231
39	アフタースクールKIDSかわぐち	野上 千春	550-0021	西区 川口 3-1-23	6599-9070	6599-9071
40	大阪聖和保育園	長瀬 光子	544-0034	生野区 桃谷 5-10-29	6731-6112	6718-2595
41	安立保育園	本山寿美子	559-0003	住之江区 安立 4-6-17	6671-8846	6671-8853
42	特別養護老人ホーム ガーデン天使	嶋田 真奈	554-0024	此花区 島屋 4-1-11	6460-0028	6460-0025
43	やまと保育園	名城 嗣盛	559-0014	住之江区 北島 3-17-1	6682-1741	6682-1786